

衆議院政治倫理の確立及び公職選挙法改正に関する特別委員会ニュース

平成 27.5.29 第 189 回国会第 4 号

5 月 29 日（金）、第 4 回の委員会が開かれました。

1 公職選挙法等の一部を改正する法律案（船田元君外 7 名提出、衆法第 5 号）

- ・参考人から意見を聴取し、質疑を行いました。

（参考人）一般社団法人リビジョン代表理事・ティーンズライツムーブメント発起人	齋木陽平君
政治解説者	篠原文也君
中央大学特任准教授・NPO法人Rights代表理事・一般社団法人生徒会活動支援協会理事長	高橋亮平君
明日の自由を守る若手弁護士の会事務局長・弁護士	早田由布子君

（質疑者及び主な質疑内容）

門山宏哲君（自民）

- ・民法の成年年齢等を 18 歳とすることの是非について、各参考人の所見を伺いたい。
- ・義務投票制の当否について、各参考人の所見を伺いたい。

角田秀穂君（公明）

- ・選挙権年齢の引下げは若者の政治参加への第一歩であると主張されているが、選挙権年齢の引下げが実現した後の若者の政治参加の目指すべき姿とはどのようなものなのか、齋木参考人の意見を伺いたい。
- ・まちづくりや地方創生の観点を含め、選挙権年齢の引下げにより期待される具体的な効果をどのように考えているのか、齋木参考人、篠原参考人及び高橋参考人の意見を伺いたい。

福島伸享君（民主）

- ・若者の間に政治への参画意識が芽生えにくい理由について高橋参考人の意見を伺いたい。
- ・主権者教育の根本理念や方策について、篠原参考人の意見を伺いたい。

木下智彦君（維新）

- ・国民の議論を二分するような政治的課題があったり既得権を排除するような改革を迫られているような場合に、教育現場において教育の公正をどのように担保すればよいと考えているのか、各参考人の意見を伺いたい。
- ・選挙権年齢の引下げを契機とする 20 代、30 代、40 代を含めての啓発活動について、齋木参考人及び高橋参

考人の意見を伺いたい。

斉藤和子君（共産）

- ・18 歳選挙権実現のための運動を始めた理由及びその運動を通して何が大事だと考えたのかを齋木参考人及び高橋参考人に伺いたい。また、若手弁護士の会の運動を始めた理由及びその運動を通して何が大事だと考えたのかを早田参考人に伺いたい。
- ・現在の日本の選挙制度において、何が若者の政治参加を促進する上での障害となっていると考えるか、各参考人の意見を伺いたい。

本ニュースは、速報性を重視した概要版として事務局において作成しているものです。
詳細な内容については会議録を御参照ください。